

令和6年度
小松市未来型図書館等複合施設基本計画策定支援業務
第3回リビングラボ企画案について

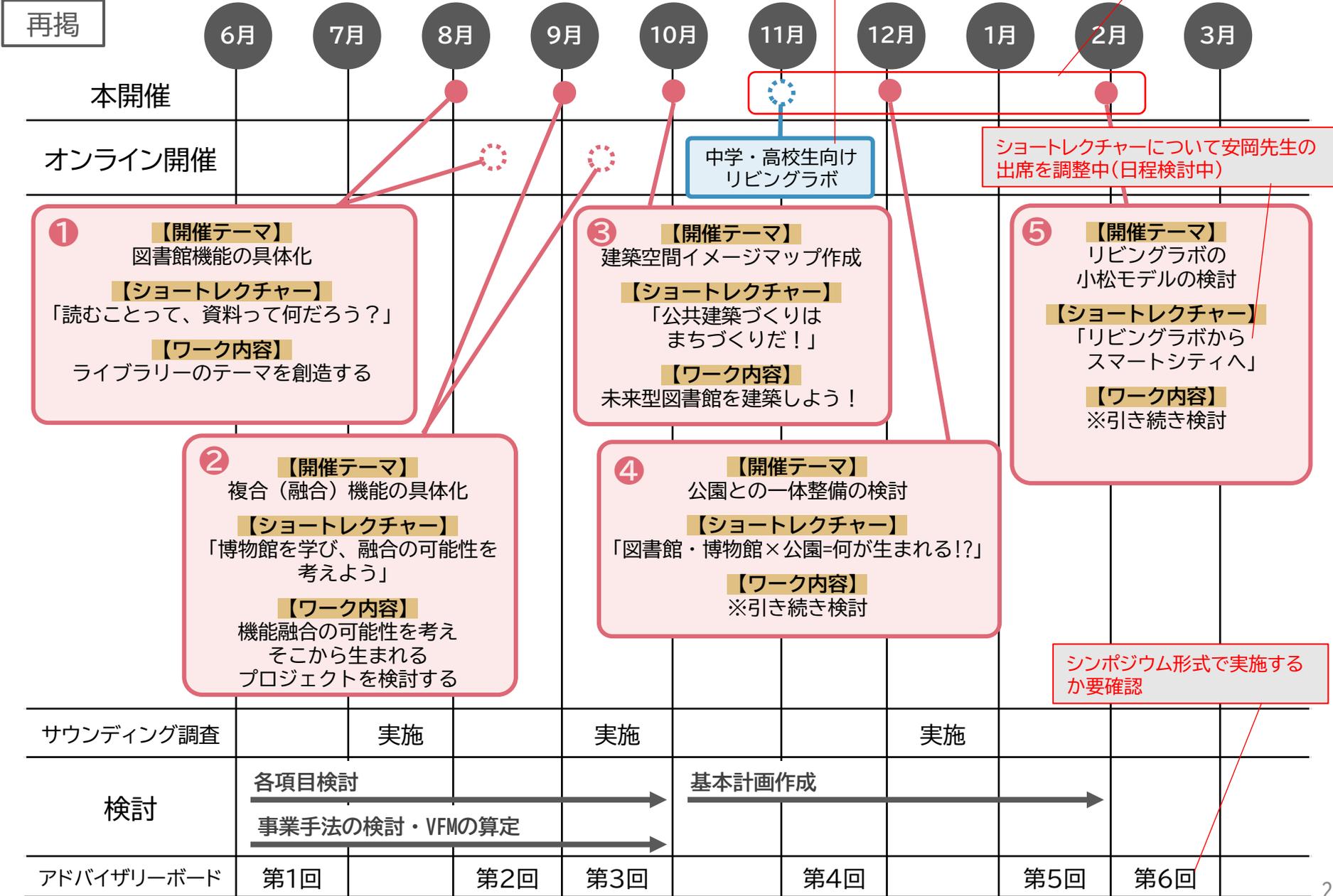
2024年9月17日（火）



R6年度こまつリビングラボの開催スケジュール

中高生向け開催内容について要確認・検討

10月以降の実施結果は基本計画内容に大きく反映が難しい(修正程度)となることに留意。あわせてワーク内容も要検討。



ショートレクチャーについて安岡先生の出席を調整中(日程検討中)

シンポジウム形式で実施するか要確認

第3回リビングラボにおける現状の課題と目的

■ 現状の課題

- 未来型図書館の整備・検討の進捗に合わせ、一昨年・昨年の取り組み内容を踏まえ、リビングラボのワークの内容自体も着実にステップを進めていく必要がある。
- 空間（建築）イメージを具体化するプロセスやワークのアウトプットと、それらがどのように基本計画に反映されるかのつながりを明確にする必要がある。
- 第1回で検討したライブラリーテーマと、第2回で検討したプロジェクトを踏まえた未来型図書館の建築イメージの具体化を図っていく必要がある。

■ R6年度第3回リビングラボの目的

- 第1回リビングラボでは図書館機能を構成する上で重要な「ライブラリーテーマ」を、第2回では、博物館や他の機能との融合・連携による未来型図書館での企画を検討した。第3回では、ここまでの検討を踏まえ、それらを実現する未来型図書館の空間（建築）の具体化について検討する。
- 機能の配置等をその関係性を考慮しながら検討し、空間（建築）を具体化していくことによって、建築におけるゾーニング、規模の検討に反映し、今年度取り纏める建築空間イメージの作成へつなげていく。

未来型図書館を建築しよう！

未来型図書館づくりを考えるための
ショートレクチャーを実施します。

- ①【公共施設づくりについて】
 - ②【情報や学びと空間の関係（案）】
- 野末教授



- それぞれが思い描いている未来型図書館全体の外装・内装（雰囲気や素材（材質）、明るさなど）のイメージを考える（ワークシートに選択&理由を記入（自由記載あり））
- 未来型図書館の核となる図書館機能は、上記の自身が考えたイメージにおいて集約型か分散型かどちらが効果的か考える。



ショートレクチャー

自己紹介

個人ワーク(建築・空間イメージの検討)

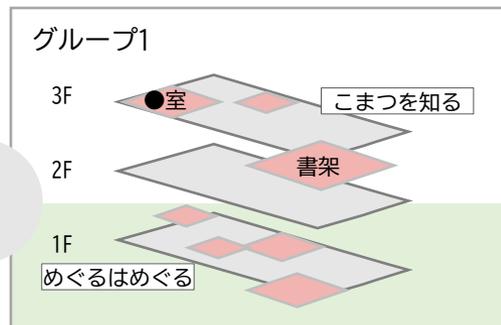
未来型図書館全体のイメージの検討

- 個人ワークで考えたイメージをグループで共有し、グループで何を中心とした施設にしたいか等の方向性を定め、機能の配置や建物の形状・階層等を検討する。

- それぞれの空間同士の関係（動線としてのつながり、空間としてのつながり（吹き抜けなど）、外部環境とのつながり）を書き込む。



必要と思われる機能（諸室のカード）
やライブラリーテーマ
（テーマのカード）を配置



グループワーク

共有

未来型図書館の建築イメージの具体化